

## 野洲川サイクリング&バードウォッチング



### 秋空の下、バードウォッチング 地元の魅力を再発見

中洲学区まるごと活性化プランAプロジェクトの主催で開催され、サイクリングと野鳥観察を楽しみました。

参加者は双眼鏡やカメラを覗き込み、野鳥を見つけて歓声を上げたり、日本野鳥の会会員で中洲小学校3年生の井上 方智いのうえ まちさんが作った「わたしの野鳥ずかん」と見比べたりしながら、秋の青空を楽しんでいました。

10月15日 | 美崎公園

## みのりのつどい



### 実りの秋をゲームや遊びで感じて おにぎりのお弁当も作ったよ

保護者会主催の「みのりのつどい」が開かれ、園児220人が野菜や果物を使った手作りの遊びやゲームを通して実りの秋を楽しみました。果物すくいや輪投げなど、全員が楽しめるよう年齢ごとに工夫した遊びのコーナーが並びました。このうち5歳児は折り紙の卵焼きやウインナーなどで、おいしそうなお弁当を作りました。

10月14日 | 玉津こども園

## タンDEM自転車体験会



### 息を合わせてペダルを踏み 障害のある人も自転車楽しむ

市障害者スポーツ協会の主催で、タンDEM自転車でびわこ地球市民の森の散策路約2.6kmを走行する体験会が行われました。びわこ成蹊スポーツ大学や市スポーツ推進委員などの協力で、自転車に乗ることができない障害者を含む21人が運転者と声を掛け合ってペダルをこぎ、爽やかな秋の森で風を切って楽しみました。

10月23日 | びわこ地球市民の森

## 学区民のつどい



### 市内各地で開催 子どもから大人まで交流

市内各地で、子どもから大人までが一堂に会する「学区民のつどい」が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響で縮小した学区もあり、速野学区も3年ぶりに縮小して実施。明富中学校吹奏楽部の演奏や園児のダンスなどの子どもたちのステージ発表、玉入れやモルックなどの運動遊びでにぎわっていました。

10月16日 | びわこ地球市民の森 ほか



## 守山市の人口

令和4年10月31日現在  
(前月比)

人口	85,590 (+ 51)
男	42,065 (+ 18)
女	43,525 (+ 33)
世帯数	34,424 (+ 25)

「私がオバさんになつても」のヒット曲で知られる森高千里さんの「涙良瀬橋」という曲を「存じでしようか?」と哀愁漂う美しい曲ですので、ぜひ、聴いてみてください!▼  
「渡良瀬橋」は栃木県足利市に実在し、この曲もヒットしたのですが、ある日、足利市役所から彼女に電話があり、彼女は出身地でもない地を舞台にした歌に苦情を言われるのか、と思ったところ、詞にある「夕日がきれいな街」として市もPRしているところで、大変感謝されたそうです▼その後、市との交流が始まり、今では、彼女自身、足利市を「第二の故郷」と語っています。先日、この地を訪れる機会に恵まれました。「八雲神社」や「公衆電話」を巡り、本当にきれいな街で、市民の皆さんが故郷を愛していることをひしひしと感じました。負けず劣らず「きれいな街」守山を誰か曲にしてくれないかなあ。(山)



「私がオバさんになつても」のヒット曲で知られる森高千里さんの「涙良瀬橋」という曲を「存じでしようか?」と哀愁漂う美しい曲ですので、ぜひ、聴いてみてください!▼